

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

【基本的な事項】

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	雇用や組合員の参画など、あらゆる関係の中で人権を尊重し、差別しない体制を構築している。					○			○		○						○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、相談窓口や教育体制など整備している。					○			○									○
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	残業構造にならないように担当業務を「見える化」し、業務が集中しないよう皆でカバーできる体制を作っている。								○									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している				○				○		○							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	運転中の事故を防ぐ為の「安全運転講習」の実施や、車両整備の管理者、衛生管理者を配置している。定期的なミーティングで危険箇所の点検や情報共有を行っている。			○					○									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	【予定】メンタルヘルス・パワハラに関する学習会の開催、メンタルヘルスカウンセリング外部相談サービスの導入を検討します。			○														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	女性が自立して働けるワーカーズ・コレクティブ(労働者協同組合)を推進し、現在4団体が活躍。経営や事業活動に関わる理事会も含めて女性の比率は9割になっている。障がい者、外国人、高齢者など多様な人材が働ける環境を整備している。					○			○		○							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	役職員共済会に加入し、スポーツジムの補助、スポーツ大会の参加費、健康保険対象外の治療など補助金制度がある。			○					○									
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	定期的な学習会や講習会を開催している。 一年次、二年次など研修制度を設けている。				○				○	○								
【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、原則に則った体制を整備している。								○		○								

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種類	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
1	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物削減のための管理や職員の意識向上などに努めている。適切な業務が行われていることをチェックする「自主監査制度」を設け、組合員がチェックする体制を整えている。											○	○		○				
2	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	省エネ計画と実施状況をチェックする「自主監査制度」を設けている。							○						○					
3	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・運室効果ガスの排出量を把握するための点検項目を設け、削減のための計画と実施状況をチェックしている。 ・供給電力の9割以上が再生可能エネルギーの「生活クラブでんき」を利用している。							○						○	○				
4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	化学物質の危険性や有害性に関する正しい情報を得て、削減のための計画を策定している。			○			○					○	○						
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	合成洗剤の扱いを無くし、環境への負荷が少ない「せっけん」を推進している。 食品の包材も化学物質無添加の「無添加追求フィルム」を導入						○										○		
6環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	水源を含む水利用状況を把握し、節水に対する意識向上を図っている。						○												
7	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	非該当			○			○	○					○	○	○	○			
8	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	ウェブ等で積極的に情報を発信している。												○						
9	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	施設内の屋上に太陽光パネルを設置している。 再生可能エネルギーの「生活クラブでんき」を利用し、推進している。							○						○					
10	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	認証製品・フェアトレード製品を利用し、天然資源の持続的利用を推進している。												○	○	○	○			
11	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	調味料、ジュース、牛乳などリユースびんを使用。回収、洗びんを繰り返しCO2削減に取り組んでいる。 牛乳キャップは廃棄せず、回収してごみ袋に製品化している。 組合員に配布しているカタログ・チラシは全て回収してリサイクルしている。						○						○	○	○	○	○		
12公正な事業 執行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則や定款に設け、社内教育を徹底している。																○		
13	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	生産者との取引など「対等互恵」の関係を築いている。行動規範を整備し、浸透している。																○		
14	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	知的財産の保護や、侵害を犯さないよう教育を徹底している。								○	○									
15	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報保護基本方針(プライバシーポリシー)を作成し、遵守している。名簿のデータ出力など申請・決済ルールを設けて適切に管理している。																○		
16	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している																○		
17	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	取引先と対話を通じた人権侵害防止等を確認している。					○		○		○			○	○	○	○	○	○	

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
製品・サービス	28【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・顧客からのクレーム対応などサービスや安全性を保障する仕組みを構築 ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理、サービス時に想定されるリスクの洗い出しなど安全性を確保する仕組みを作っている。			○									○						
	29【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・組合員からの声を集め、サービスや安全性を保障する仕組みを構築 ・組合員の声を職員会議・理事会で共有し、適宜対策を講じている。									○									
	30【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・リユース瓶の導入や脱プラ製品、包材の簡素化など環境に配慮した製品を優先的に扱っている。						○						○	○	○	○			
	31【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・フェアトレード製品の取り扱い ・国産原料にこだわり、自給率向上につながるよう努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・CO2削減につながるリユースの仕組みやせっけん活動など、地域の組合員とともに環境活動を行い、環境に配慮した事業に取り組んでいる。				○					○		○	○		○	○		○	
	33【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	る「みんなのたねまき基金」を創設し、山梨県内の福祉事業活動をしている団体、個人を支援している。フードドライブやフードパントリーを定期的に実施し、こども食堂の支援なども行っている。 ・各市町村と「見守り協定」を結んでいる。				○								○			○	○		○
	34【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・山梨県内の生産者と取引し、地産地消を推進している。・山梨県内の生産者で提携グループを作り、鶏ふんや米ぬかの利用など生産者間で循環する仕組みを作っている。								○	○		○	○	○					
組織体制	35【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・法令順守(コンプライアンス)の方針や手順などの体制を整備している。																○		
	36【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念を明文化し、役職員だけでなく組合員にも公表している。・									○	○							○	
	37【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・理事会と独立した監事を配置し、法令順守が適切に行われているかのチェック体制を強化している。																	○	
	38【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・担当役員の任命や環境専門の事務局を配置している。																	○	
	39【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	リスクを洗い出して評価した上で適切な対策を講じている																	○	
	40【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	CSR方針を策定し、責任を持って対応する取組を整備している。																	○	
	41【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握、適切に対応している。																	○	○
	42【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・事故や災害が発生した場合の対応方法を明文化している。 ・山梨県と「生活必需物資の調達に関する協定」など災害協定を結び、災害時に対応できる仕組みを作っている。										○		○	○			○		

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
3	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	・後継者候補がいる。 ・後継者を育成するプログラムを実施している。									○	○							○

【記載留意事項】

- ・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（2021年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の「その他独自に行っている取組」も同様。）

【その他独自に行っている取組】

[illegible]